## 年 間 計 科目 スタディガイダンス I 高等学校 令和 4 年度(1 学年用) 教科 総合

教 科:総合 科 目: スタディガイダンス I 単位数: 1 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組:青木・高橋) (2組:矢口・松村) (3組:塚本・稲垣) (4組:高安・鮏川) (5組:鈴木・池上) (6組:北浦・松永)

使用教科書: ( ベネッセコーポレーション「マナトレ」基礎編コースの国語、数学、英語3教科

教科 総合 の目標:

【知識及び技能】

の目標:

義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、より効率的に学習ができる配列を工夫してある「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行うことにより、キャリアガイダンスによる3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。

生徒の「わかった」、「できた」という喜びを積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。 【思考力、判断力、表現力等】

確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見出す生徒を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 スタディガイダンス I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な 項目に絞り、より効率的に学習ができる配列を天してある「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を 行うことにより、キャリアガイダンスによる3カ年を見通 した系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向 上を図る。	げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という 学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。	確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広 げ、将来の展望を見出す生徒を育成する。

	指導項目	指導内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期 2学期	法) 【9級】 四則計算 (乗法・除法) 【8級】 小数 【7級】 分数 (3) 英語 (58回×10分) 「マナトレ」英語 基礎編 【10級】アルファベット・単語 【9級】 一般動詞 (他動詞・現在/肯定) 【8級】 一般動詞 (他動詞・現在/否定・疑問) 【7級】 一般動詞 (他動詞・現在/否定・疑問) 【7級】 一般動詞 (他動詞・過去/肯定)	マナースシース (1) 本の	【知識・技能】マナトレの内容を理解し、学習内容が定着したか。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、その解決に取り組むとともに、他者と協力することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、マナトレに取り組み、自己の学習方法を調整しながら、粘り強く取り組んだか。	0	0	0	13 (65)
3 学期							8 (40) 合計 35 (175)

間 年 科目 スタディガイダンスⅡ 高等学校 令和4年度(2学年用) 教科

義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、より効率的に学習ができる配列を工夫してある「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行うことにより、キャリアガイダンスによる4カ年を見通した 系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。 【知識及び技能】

生徒の「わかった」、「できた」という喜びを積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。 【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】 確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見出す生徒を育成する。

## <u>科目 スタディ</u>ガイダンスⅡ

の目標: 上を図る。

	指導項目	指導内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期 2学期	(1) 国 (5 9回× 10 分) 「マナトレ」 国語	マナーショ 国語   ・	【知識・技能】マナトレの内容を理解し、学習内容が定着したか。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、その解決に取り組むとともに、他者と協力することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、マナトレに取り組み、自己の学習方法を調整しながら、粘り強く取り組んだか。	0	0	0	13 (66)
3 学期							8 (41) 合計 35 (176)

## 年 間 業 科目 スタディガイダンス皿 高等学校 令和4年度(3学年用) 教科

(5組:荻野)

の目標: 教科 総合

義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、より効率的に学習ができる配列を工夫してある「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行うことにより、キャリアガイダンスによる5カ年を見通した 系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。 【知識及び技能】

生徒の「わかった」、「できた」という喜びを積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲 【思考力、判断力、表現力等】 を喚起し、自己肯定感を育む。

【学びに向かう力、人間性等】 確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見出す生徒を育成する。

上を図る。

	指導項目	指導内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期 2学期	法) 【9級】 四則計算(乗法・除法) 【8級】 小数 【7級】 分数 (3) 英語 (58回×10分) 「マナトレ」英語 基礎編 【10級】アルファベット・単語 【9級】 一般動詞 (他動詞・現在/肯定) 【8級】 一般動詞 (他動詞・現在/否定・疑問) 【7級】 一般動詞 (他動詞・現在/否定・疑問) 【7級】 一般動詞 (他動詞・過去/肯定)	マナナース ショ国語 ( ) で ( ) を	【知識・技能】マナトレの内容を理解し、学習内容が定着したか。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、その解決に取り組むとともに、他者と協力することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、マナトレに取り組み、自己の学習方法を調整しながら、粘り強く取り組んだか。	0	0	0	13 (67)
3学期							8 (42) 合計 35 (177)